

小平市公共施設マネジメントニュース

平成30年12月号

第1部 第2回 中央・小川デザインカフェ ～次の世代の施設を考えよう～

将来の人口減少、少子・高齢化など、公共施設を取り巻く環境が変化中、市ではこれからの公共施設のあり方等について取組む公共施設マネジメントを推進しています。

中央公民館・健康福祉事務センター・福祉会館・西部市民センター・小平元気村おがわ東の複合化など基本計画の策定を、市民参加で進めています。

中央・小川デザインカフェ（ワークショップ形式）では、参加者同士でリラックスした雰囲気の中、中央公民館周辺エリアと小川駅周辺エリアの各テーマについてアイデアを出していきます。

市では、市民参加などを経て平成31年秋を目途に新しい公共施設に関する基本計画を策定する予定です。

【参加状況】平成30年12月2日（日）

① 中央公民館周辺エリア：中央公民館 学習室4	14時～16時	17名
② 小川駅周辺エリア：小川西町公民館 ホール	10時～正午	15名

【中央デザインカフェ】



テーマ：誰もが使いやすい公共空間を考えよう
全体進行：前回のグループ意見などの振り返りを行い参加メンバーで情報共有した後に、3つのワークテーマについて意見交換やアイデアを出し、グループごとに発表を行いました。
ワーク①：自分たちにとっての「居心地の良い場所」について考えよう
ワーク②：「居心地の良い場所」に、なかなかいない人、どうしていないのかを考えよう
ワーク③：中央エリアにおける「居心地の良い場所」はどこだろう、どうしたら居心地がよくなるか考えよう

【小川デザインカフェ】



テーマ：公共スペースのあり方を考えよう①
全体進行：前回のグループ意見などの振り返りを行い参加メンバーで情報共有した後に、2つのワークテーマについて意見交換やアイデアを出し、グループごとに発表を行いました。
ワーク①：各グループで3つの機能（図書館・公民館・広めの多目的室）のコンセプトを考えよう
ワーク②：各グループから出たコンセプトを1つにした図書館・公民館・広めの多目的室のあり方考えよう（※発表なし）
宿題：次回までに、あり方を実現するための3つの機能の配置案（ゾーニング程度）を各自で考える

各グループの主な意見は裏面にまとめていますので、ご覧ください。



主 な 意 見

【中央デザインカフェ「誰もが使いやすい公共空間を考えよう」】

「このエリアで居心地の良い場所」、「このエリアで見かけない人」、「どうしたら居心地が良くなるか」

Aグループ

- ・中央エリアで見かけない人は、実は「いない」のではなく、見た目では分からないけれど、困っている人がいるのではないか。
- ・障がい者にとっても居心地の良い場所、コミュニケーションができる場を設けてはどうか。
- ・障がい者支援関連の機能を使い勝手やコミュニケーションの観点も踏まえて、複合化をしてはどうか。

Bグループ

- ・「居心地が良い場所」として、公民館ロビー、WiFi、自然などの癒しの場があることが挙げられる。
- ・学生にとっては自由に使える自習室があると居心地が良いのではないか。
- ・情報を知らない人、交通の便が悪いことが理由で来られない人がいるはずである。
- ・仲間と繋がる空間の整備やインターネット環境の改善が必要ではないか。

Cグループ

- ・「居心地が良い場所」として、図書館、公民館、ホールやロビーなどが挙げられる。
- ・平日仕事をしている人、学生、障がい者などはあまり見かけない。
- ・施設と外にある自然とをつなぐ空間、飲食できるロビー、バリアフリーで障がい者も使いやすく、若者を呼び込めるように自習やダンスができるスペースを設けてはどうか。

Dグループ

- ・「居心地の良い場所」として、公民館、市役所、電車が見える場所、緑のある場所が挙げられた。
- ・障がい者、若者、働き世代、高齢者は、あまり見かけない。ただし、平日・休日・時間帯等によって変化する。
- ・極論だが、見かけない人は「まだ生まれていない世代」という話題が出た。
- ・居心地良くしていくため、ハード面ではバリアフリー化、ソフト面ではサポートが必要な方に対する人の充実をしてはどうか。

【小川デザインカフェ「公共スペースのあり方を考えよう①」】

「図書館機能、公民館機能、広めの多目的室機能のコンセプトは」

Aグループ

- ・「本がっつなぐ地域」…図書館機能と他の機能を完全に分けてしまうのではなく、施設全体に緩やかに図書館機能がつながるイメージではどうか。レファレンス機能もあり「ここに来れば何かがある」というわくわくの場になるのではないか。
- ・「多様に利用できる空間」…「使う人が使い方を考えられる空間」はどうか。プロジェクター、畳、キッチン、椅子、机など、備品として様々な用意することによって、映画を見たり、交流の場に活用できるなど、空間に多様性が生まれるのではないか。

Bグループ

- ・「テクノロジー・エンターテイメント・デザイン」…様々なことに意識の高い人に対して、情報を提供できる場であると、より意識の高い人が住みやすく活発になるのではないか。
- ・「子どものための図書館」…もっと子どもが学べる場が必要であり、子どもに特化するのも良いのではないか。
- ・「フリーダムな公民館」…用途を決めて整備するのではなく、間仕切りを用いて、会議室や多目的室など様々な活用できるようにするのが良いのではないか。

Cグループ

- ・「住民の居場所としてくつろげて、視聴覚で訴えかける図書館」…住民がくつろぎ、専門書なども読め、視聴覚で楽しめて学びがある図書館であると良いのではないか。
- ・「気軽に誰でも利用できる公民館」…社会教育の講座、市民の話題となるものが提供でき、行政機能もあり楽しく皆が集まると良いのではないか。
- ・「気軽に利用できて行きたくなる広めの多目的室」…使用する用途に応じて使えることで、魅力が高まるのではないか。

Dグループ

- ・「情報と絆の交差点(店)」…「交差点」とは、情報と絆が交わる場所という意味と「店」とも置き換えられるように、商店街のようなコミュニケーションの場にもなると良いのではないか。市民が誰とでもつながれるような場になってほしい。
- ・誰でも来てゆっくりできること、開かれた場であること、多様に使える場であることなどが大事ではないか。

【お問合せ】 小平市 企画政策部 公共施設マネジメント課

〒187-8701 小平市小川町 2-1333 TEL042-346-9557 FAX042-346-9513

メールアドレス facility-mg@city.kodaira.lg.jp



小平市公共施設マネジメントニュース

平成31年1月号

第1部 第3回 中央・小川デザインカフェ ～次の世代の施設を考えよう～

将来の人口減少、少子・高齢化など、公共施設を取り巻く環境が変化する中、市ではこれからの公共施設のあり方等について取り組む公共施設マネジメントを推進しています。

中央公民館・健康福祉事務センター・福祉会館・西部市民センター・小平元気村おがわ東の複合化など基本計画の策定を、市民参加で進めています。

中央・小川デザインカフェ（ワークショップ形式）では、参加者同士でリラックスした雰囲気の中、中央公民館周辺エリアと小川駅周辺エリアの各テーマについてアイデアを出していきます。

市では、市民参加などを経て平成31年秋を目途に新しい公共施設に関する基本計画を策定する予定です。

【参加状況】平成30年12月22日（土）

① 中央公民館周辺エリア：福祉会館 小ホール	9時30分～正午	20名
② 小川駅周辺エリア：小平第六小学校 多目的室	14時～16時30分	15名

【中央デザインカフェ】



テーマ：公共空間の価値創造提案を考えよう

全体進行：前回のグループ意見などの振り返りを行い参加メンバーで情報共有した後に、グループごとにワークをし、発表を行う。

ワーク①：「誰もが使いやすい施設としての工夫を考えよう」「利用者にとっての魅力を考えよう」「新築物を長期的に維持していくための工夫を考えよう」のテーマについて意見交換とアイデア出しを行う。

ワーク②：ワーク①で出た意見等を踏まえて新築物のコンセプトを考える。

ワーク③：説明係（所属グループのアイデア等の説明）と情報収集係（他のグループのアイデア等を情報収集）に分かれて各グループのアイデアを共有する。

ワーク④：他のグループの情報を踏まえてグループとしての提案をまとめ、発表する。

【小川デザインカフェ】



テーマ：公共スペースのあり方を考えよう②

全体進行：前回のグループ意見などの振り返りを行い参加メンバーで情報共有した後に、グループごとにワークをし、発表を行う。

ワーク①：前回、各グループで考えた図書館・公民館・広めの多目的室に関するコンセプトに合うように、フロアの各機能の配置についてゾーニング案を考える。

ワーク②：説明係（所属グループのアイデア等の説明）と情報収集係（他グループのアイデア等を情報収集）に分かれて各グループのアイデアを共有する。

ワーク③：他のグループの情報を踏まえて、改めてグループとしてのゾーニング案を考えて、発表する。

各グループの主な意見は裏面にまとめていますので、ご覧ください。



主 な 意 見

【中央デザインカフェ「公共空間の価値創造提案を考えよう」】

『コンセプト』「誰もが使いやすい施設の工夫」、「利用者にとっての魅力」、「長期的に維持していくための工夫」

Aグループ『22世紀につながる建物』

- ・案内モニターにより部屋等の空き状況が確認でき、使いやすいトイレ、エスカレーター等を設置してはどうか。
- ・施設の予約・料金支払が簡単にできる環境を整備し、送迎バスなどによりアクセスを良くしてはどうか。
- ・ネーミングライツや営利企業への施設貸出により収入を得るとともに、維持管理しやすい建物にしてはどうか。

Bグループ『フラットホーム』（ふらっと立ち寄れる、フラットで誰でも使いやすい、収支も工夫してフラットに）

- ・バリアフリーに配慮するとともに、空間をパーテーションで区切れるなどフレキシブルな建物にしてはどうか。
- ・オールナイト・年末年始も開放して施設をフル活用し、利用者の活動が発信できる建物にしてはどうか。
- ・企業からの広告収入や、バザーやマルシェを開催し、参加者から出店スペース代などを得てはどうか。

Cグループ『小平コム（COME、コミュニケーション、COM）』

- ・世代を超えて誰もが使いやすいバリアフリーにし、また芸術や自然を大事にすると良いのではないかな。
- ・高層階に付加価値のあるものを設置し、低層階への人の流れで、他の階にも立ち寄れる建物にしてはどうか。
- ・掃除しやすく維持管理にメリットがあるようにしてはどうか。

Dグループ『みんなでニコニコ、健康づくり、笑顔が集まる広場、笑顔でつながる広場、居心地のいい新建物、ゆるい場所』

- ・音声案内、点字ブロック、エスカレーター等を設置し、可動間仕切りで効率的なスペースを創出してはどうか。
- ・高齢者の居場所づくり、総合案内窓口の設置、交通アクセスを充実させると良いのではないかな。
- ・経費を「見える化」し、バザー等の場所代を得つつ、利用料金を有料にしてサービスを充実させてはどうか。

【小川デザインカフェ「公共スペースのあり方を考えよう②」】

「図書館機能、公民館機能、広めの多目的室機能のコンセプトに合った各機能のゾーニング案を考える」

Aグループ

- ・全体として「本がたなご」をコンセプトとして、本が色々なところがあり各機能と混じり合うと良いと考えた。
- ・4階は北側に事務スペースなどの行政機能を、東側には公民館機能・市民活動スペースを、西側は図書館機能として、5階は北西側に広めの多目的室機能を、南東側には小ホールを配置してはどうか。

Bグループ

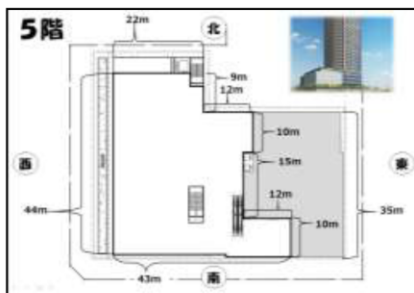
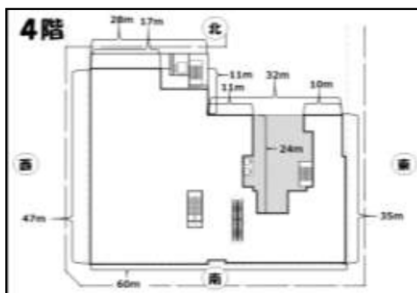
- ・全体として通路を広くし、障がい者などが通りやすい空間とすると良いと考えた。
- ・4階は東側に子どもを意識した図書館機能・作業スペースを、西側には大人を意識した公民館機能・カフェを、5階は北西側に音楽会などを行える広めの多目的室機能を配置してはどうか。

Cグループ

- ・全体として、4階を「静」ゾーン、5階を「動」ゾーンとすると良いと考えた。
- ・4階は総合案内窓口と行政機能、図書館機能とコーヒーが飲めるスペースを、5階は富士山が見られるように西側に広めの多目的室、東側に公民館機能、市民活動ゾーンを配置してはどうか。

Dグループ

- ・全体のコンセプトは「交差点（店）」で、本に囲まれつつ映像鑑賞等を可能とすると良いと考えた。
- ・4階は図書館機能、ギャラリー、東側に音楽ができる防音の小ホール機能、西側に勉強できる自習室、南西側に子ども向けのスペースやカフェなどを、5階は全体的に大人向けの空間とし、北西側に広めの多目的室機能、その近くに公民館機能、市民活動ゾーン、南東側に行政機能を設置してはどうか。また、各階に総合案内窓口を配置してはどうか。



グループワークで使用したワークシート

【お問合せ】 小平市 企画政策部 公共施設マネジメント課

〒187-8701 小平市小川町 2-1333 TEL042-346-9557 FAX042-346-9513

メールアドレス facility-mg@city.kodaira.lg.jp



小平市公共施設マネジメントニュース

平成31年2月号

第2部 第1回 中央・小川デザインカフェ ～次の世代の施設を考えよう～

将来の人口減少、少子・高齢化など、公共施設を取り巻く環境が変化する中、市ではこれからの公共施設のあり方等について取組む公共施設マネジメントを推進しています。

中央公民館・健康福祉事務センター・福祉会館・西部市民センター・小平元気村おがわ東の複合化など基本計画の策定を、市民参加で進めています。

中央・小川デザインカフェ（ワークショップ形式）では、参加者同士でリラックスした雰囲気の中、中央公民館周辺エリアと小川駅周辺エリアの各テーマについてアイデアを出していきます。

市では、市民参加などを経て平成31年秋を目途に新しい公共施設に関する基本計画を策定する予定です。

【参加状況】平成31年1月19日（土）

① 中央公民館周辺エリア：中央公民館 学習室4	14時～16時	19名
② 小川駅周辺エリア：小川西町公民館 ホール	10時～正午	12名

【中央デザインカフェ】



テーマ：新築物に期待する機能を整理しよう

全体進行：第1部全体の振り返りを行い、参加メンバーで情報共有した後に、グループ毎にワークをし、発表を行う。

ワーク①：第1部第3回でワークした「誰もが使いやすい施設の工夫」「利用者にとっての魅力」「長期的に維持するための工夫」について、3グループに分かれ担当テーマ毎に内容を詰める。

ワーク②：詰めた内容の実現のために考えられる課題、懸念事項、代替案などを考え、発表する。
※発表後に、次回のテーマとなる「運営」を検討する上で知りたいことについて、参加者で事前に書き出しを行った。

【小川デザインカフェ】



テーマ：市民広場の活用方法を考えよう

全体進行：第1部全体の振り返りを行い、参加メンバーで情報共有した後に、グループ毎にワークをし、発表を行う。

ワーク①：市民広場でどう過ごしたいか、どんな企画があったら嬉しいかを考える。

ワーク②：市民広場で過ごすための市民ルール案と企画ルール案を考えて、発表する。

各グループの主な意見は裏面にまとめていますので、ご覧ください。



主 な 意 見

【中央デザインカフェ「新建物に期待する機能を整理しよう」(内容を詰め、実現への課題・懸念事項、代替案等を考える)】

Aグループ『誰もが使いやすい施設の工夫』

- ・トイレをわかりやすい場所に設置しバリアフリー化し、駐車場、駐輪場、エレベーター、エスカレーターを充実させてはどうか。また、利用料金の免除や利用可能な時間帯を広げてはどうか。
- ・トイレ利用時の音が漏れる心配、駐車場台数の需要・供給調査の必要性、エレベーター・エスカレーターの設置コスト等が課題ではないか。利用料金の無料化の難しさや利用可能な時間帯の拡充に伴う人件費の増加が懸念されるのではないか。
- ・駐車場の利用が無い時は市民活動用として利用してはどうか。

Bグループ『利用者にとっての魅力』

- ・良好な交通アクセス、温かい接客、充実した防音設備、長い利用時間帯、広々としたフリースペースはどうか。また、クリニックやカラオケなど人を引き寄せるといふものがあると良いのではないか。
- ・人件費や利用料金が增加する懸念がある。近隣市に類似したものがあると魅力が半減することや、利用ニーズが変わらず継続するかといった課題が考えられる。
- ・柔軟性のある空間にしておくことが大事ではないか。テナント料や品質の高い有料貸出物品など、施設が自己収入を得られるようにしてはどうか。

Cグループ『長期的に維持するための工夫』

- ・屋上庭園による猛暑対策、ソーラーパネルの設置等による再生可能エネルギーの活用により光熱水費削減につなげてはどうか。ネーミングライツや事業者へ施設の一部を賃貸するなど収入を得てはどうか。
- ・屋上庭園を整備するには頑丈な施設が求められるのではないか。条例の改正が必要になるなど、税金以外での歳入を増やすことは難しいのではないか。
- ・利用料金を有料にして、価値あるものを増やしてはどうか。

【小川デザインカフェ「市民広場の活用方法を考えよう」(市民広場でどう過ごしたいか・どんな企画があったら嬉しいか、市民広場で過ごすための市民ルール案・企画ルール案を考える)】

Aグループ

- ・食事、散歩の休憩、本を読むなどゆっくり過ごせ、子どもが遊べる広場が良いのではないか。季節ごとのイルミネーション、野外映画の上映、フリーマーケットの企画の他、既存イベントに広場を活用するなどが考えられる。
- ・ごみは持ち帰る、また利用を予約制にしてはどうか。営利のみの活動は禁止するなど事前審査をしてはどうか。

Bグループ

- ・緑豊かな木々に囲まれて芝生で飲食したりゆっくりでき、音楽を演奏したり聴いたりできる広場が良いのではないか。地元の大学や企業などの連携、学生が出店や発表ができるイベントがあると良いのではないか。
- ・緑を大切にし、気遣い、譲り合い、ペットの管理を徹底し、演奏可能な時間帯を決めてはどうか。

Cグループ

- ・子どもも安心して遊べ、思い思いに自由に過ごせる広場が良いのではないか。市民が学べる青空教室、フリーマーケット、イルミネーションの企画を実施し、毎年、広場の開設日に記念イベントを行ってはどうか。
- ・大声を出さないなど公共マナーは守り、利用者同士でコミュニケーションをとり、信頼関係を築くのはどうか。お酒を飲む際は、時間帯やエリアで区切ってはどうか。

Dグループ

- ・ステージでの発表、キャッチボールなどで体を動かせ、ゆっくり過ごせる広場はどうか。季節ごとにイベントを開催してはどうか。
- ・予約制の場所と予約なしの場所が両方あり、広場をきれいに使うことが大切ではないか。たばこやお酒は空間や時間帯を分けてはどうか。ドッグランなどを整備してはどうか。

【お問合せ】 小平市 企画政策部 公共施設マネジメント課

〒187-8701 小平市小川町 2-1333 TEL042-346-9557 FAX042-346-9513

メールアドレス facility-mg@city.kodaira.lg.jp

